

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名:こどものき ゆう

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5	・狭い。人が15人入るとは思えない。 ・活動により部屋を分けて活動を行ったり、園外と別れて行うなどの工夫を行っている。 ・指定基準を余裕をもって超えたスペースを確保している。	・活動スペースには限りがあるため、園外施設の活用や、スペースの切り分け方の工夫などをしていく
	2 職員の配置数は適切であるか	1		・必要最低限の人数であるため、急な子どもの対応があった際、ヘルプも呼べないのでもう少し余裕のある職員の人数で対応していきたい。 ・最低基準+加配職員を配置している。児童の様子によっては、対応が難しい場合がある。	・児童の様子に応じて、職員配置を見直すなど、きめ細やかに対応できる状況の確保につなげる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	・車いすでも入ることのできるトイレの設置など、バリアフリーへの配慮をしている。	・現在バリアとなっている部分を検証する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		・活動前のすり合わせ、活動、振り返り、活動の立案とPDCAサイクルが回るように配慮をしている。	現在行っている、PDCAサイクルを継続的に行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2		・事業所評価のアンケートなどをもとに以降の把握をしている。 ・日頃より、ノートや面談による意見の吸い上げを行っており、それらも業務改善につなげている。	・保護者向けの評価表や、日ごろの意見の吸い上げなどを継続的に行っていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・適切に公開している。	ホームページでの掲載への切り替えなどを行っている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		・現状、事業所としては第三者評価は受けていないが、法人として受診しておりその際に、自己点検や、改善点の共有などを行っている。	法人における第三者評価などの機会も生かしつつ、外部からの意見を受ける機会を作っていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		・コロナの為、研修が無くなったりしている。 ・リモートでの研修参加など出来る限り研修の機会の確保に努めている。	・研修計画を立てるとともに、リモートでの研修参加など、現在できる形での研修参加を促す。
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・相談支援事業所の計画、モニタリング、日ごろの行動観察記録、保護者との面談などを総合してニーズ把握を行い、計画に反映している。	・相談支援事業所との連携や、家族との面談などを引き続き行っていく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			・新版K式発達検査などの検査項目をもとに子どもの課題の整理をしている。ただし、検査として行っているわけではなく完全に標準化されたものとはいいがたい。	・発達検査などの標準化された項目を行動観察の際に取り入れていくことで、児童の状況の把握につなげる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	個人で立案することが多い 活動の振り返りや、事前のすり合わせでの意見の吸い上げなど、活動内容の調整を行っている。	・活動前のすり合わせや、振り返りなど、活動に対しての意見を吸い上げる場を引き続き確保し、プログラムの立案につなげていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		運動、制作、園外活動、ルールのある遊びなどを織り交ぜながら活動することで活動が固定化しないように配慮している。	・引き続き、複数の活動内容を織り交ぜていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		長期休暇中には、子どもの感動体験や余暇活動の充実を図るために園外施設を利用した活動を行うなど、状況に応じた支援の提供を行っている。	・長期休暇中の、日ごろの療育では実施しにくいことを取り入れるなど、子どもの意欲関心につながる活動の提供を図る。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	活動計画の中で、グループの調整を行い、必要に応じては個別にて対応したり少人数に調整するなど工夫をしている。	・子どもの様子に合わせた活動ができるように、日ごろの行動観察や、利用者からの意見の吸い上げを行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		活動前に打ち合わせの時間を設けている。	・継続して行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		活動終了後に振り返りを行っており、その中で出た情報に関してはデータとして保存しスタッフが閲覧できるようにしている。	・継続して行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2		活動計画、振り返りの記録、活動記録など決められた書式があり、それらに記入を行っている	・記録の形式は決められているが、職員にとってわかりやすい説明などを行っていく必要がある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		クールごとの個人面談および、相談支援事業所におけるモニタリングなどを参考に支援計画の調整を行っている。	・相談支援事業所との連携なども継続的に行っていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2		日常生活、創作、余暇活動などの内容を織り交ぜて支援を行っている。	・ガイドラインの内容を熟知するとともに、複数の活動を意識的に取り入れるようにする。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20			あまり関わる事がない 現状サービス担当者会議の参加に関しては限られているが、必要時には担任に限らず、かかわりの深い職員が連携会議に参加するなどしている。	・担任や、対象の子どもの状況を把握している職員が連携に参加するなど、やりとりが深まる配置を行う。
	21	5		年度ごとに、利用者の情報の共有(来園、訪問)や、送迎ルール等のすり合わせなどを行っている。 保護者からも情報の聴取を行っている。	・継続して行う。
	22		2	・現在、そういった子どもがいないので分からない。 ・必要に応じて指示書をいただくなど、医療連携を行っている。	・医療的なケアが必要な場合には、保護者の同意を得つつ、連携などをとっていく。
	23		6	・併設された保育所等訪問支援事業所なども活用しながら情報共有や支援の調整を行っている。	・法人の中で併設されている事業なども活用しながら、連携を深めていく。
	24			現状、障害福祉サービスへの移行ケースがないため実績はない。	・サービス以降が必要な場合の連携方法などの確認を行っておく。
	25		2	研修会などへの参加をしているが、今年度に関しては、コロナなどの影響もあり研修参加は限定的である。	・リモートでの研修参加など、可能な工夫をしながら研修機会の確保につなげる。
	26			6 個人情報保護の観点やコロナ対応などから現在は交流を行っていない。	・保護者等の意向も聞き取りつつ今後の対応を検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3 法人として、地域の連携会議として参画しているとともに、行政の開催する事業所間の連絡会に参加するなどしている。	・連携会議や、協議会が開催される場合には積極的な参加を行う
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		6 基本的には、活動ごとに報告を行い課題共有につなげている。また、送迎などで日頃の報告が難しいケースに関しても、ノートでのやり取りなどができる状況を確認している。	・活動報告や、ノート、メールなどを活用したやり取りなどを継続していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			現状、コロナに関する対応から保護者向けの会を開催できていない。	・コロナの状況などを見つつ、開催が可能な状況が整えば実施していく。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		3 入園にあたって、必要事項の説明を行っている。また、重要事項説明書などを閲覧できるようにしている	・説明内容をより分かりやすいものに工夫するなどする。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31		5	ノートなどによるやり取りや、電話相談、個別面談など保護者の関わりやすい方法にて支援を行っている。	・継続して行う。
	32		4	今はコロナで出来ていない。同窓会への参加の促しなどを行っていた経緯はある。	・コロナの状況などを見つつ、開催が可能な状況が整えば実施していく。
	33		5	苦情としての対応事例はないが、苦情受付の窓口を明示し、体制を整えるなど対応できる状況を整えている。	・体制を整えておくとともに、日ごろからコミュニケーションをとり、対応できるようにしておく。
	34		5	毎月、園だよりを発行し、活動内容の伝達や行事の周知などを行っている。また、必要時にはメールなどを利用して情報の発信をしている。	・引き続き情報発信を行うとともに、ホームページなどの活用もしていく。
	35		5	鍵付きの書棚での記録の管理など配慮をしている。	・継続して行う。
	36		6	コミュニケーションツールとしてカードやサインなどを取り入れている。保護者とのやり取りに関しては、直接の面談以外に、ノート、メール、電話など複数のツールを用いることで情報伝達に配慮している。	・継続して行う。
	37			6	個人情報保護の観点から実施していない。
非常時等の対応	38		5	最初に配ったきりで常に見る機会はない。マニュアルに関しては、職員が常に見ることができるようにデータなどでも管理している。保護者に関しては、待機部屋に設置するなどの対応もしている。	・マニュアル等が掲示されていること、いつでも閲覧可能であることなどを保護者に伝えることで周知を図る。
	39		5	火災、地震、水害を想定した訓練を実施している。	・継続して行う。
	40		6	職員研修の中で、虐待防止に関する話をするとともに、ガイドラインの閲覧、周知などをおこなっている。	・虐待防止に向けた研修などを継続的に取り入れていく。
	41			現状、ミトンなどの身体拘束具を使うようなケースがなく計画などには反映されていない。	・今後身体拘束が必要なケースが出てきた場合には、同意をとり支援計画に反映するなど、適切な対応をとる。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	<p>食事は無い。 食事提供をしておらず、食物アレルギーに関する特別な配慮を必要としていない。情報として、アレルギーの有無などは聞き取っており、提供の際には配慮できるような状況を整えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供をする場合には、除去などが必要な利用者への対応を徹底する。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		<p>ヒヤリハット事例集を作成し、データにて閲覧できるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行う。